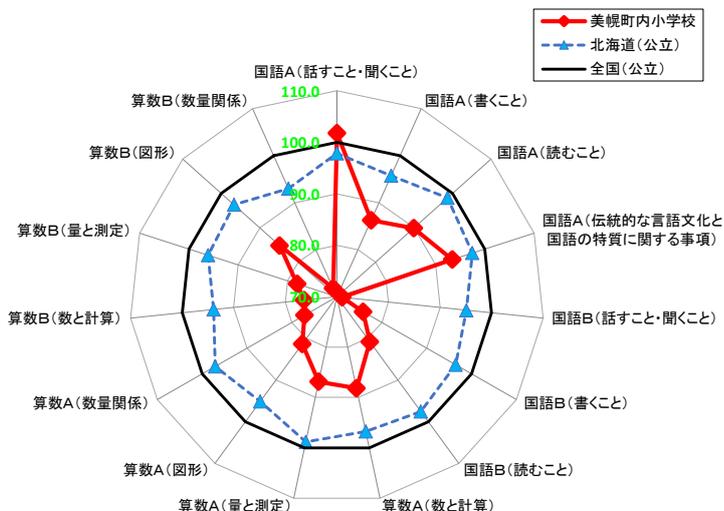


# ■美幌町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:3、児童数:160名)

## 【教科全体の状況】

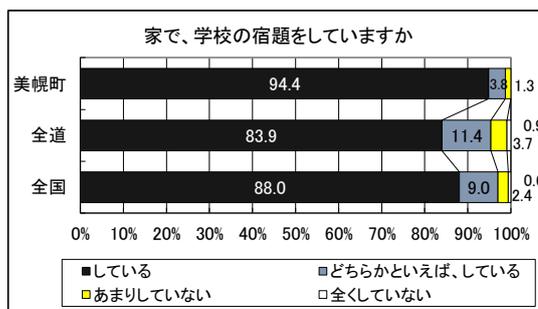
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



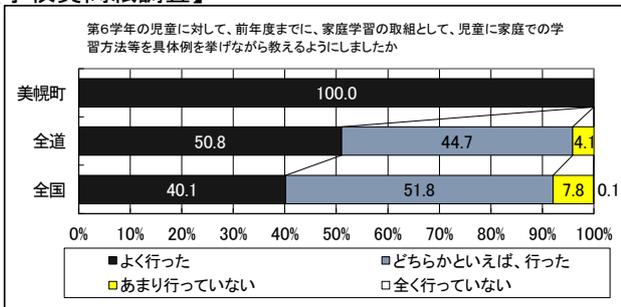
## 美幌町内小学校の平均正答率

教科名	平均正答率(%)
国語A	67.5
国語B	44.9
算数A	66.4
算数B	35.6

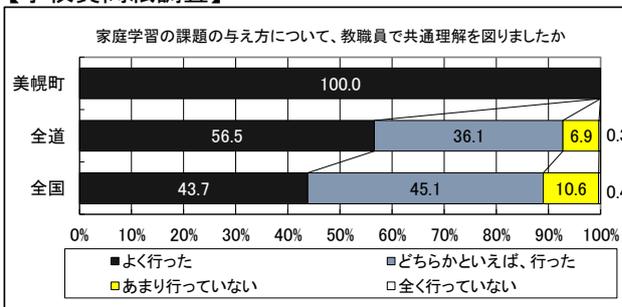
## 【児童質問紙調査】



## 【学校質問紙調査】



## 【学校質問紙調査】



## 【分析】

教科	○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」で、全国を上回っている。	○ 各学校が家庭学習の課題の与え方について教職員で共通理解を図り、家庭での学習方法等を具体例を挙げて教えることにより、児童は家庭において自ら学習に取り組むようになり、漢字の読み書きや計算などの基礎的・基本的な知識・技能の定着につながっていると考えられる。
児童質問紙	○ 「家で、学校の宿題をしている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	
学校質問紙	○ すべての学校が「第6学年の児童に対し、前年度までに、家庭での学習方法等を具体例を挙げて教えたり、家庭学習の与え方について、教職員で共通理解を図ったりした」と回答している。	

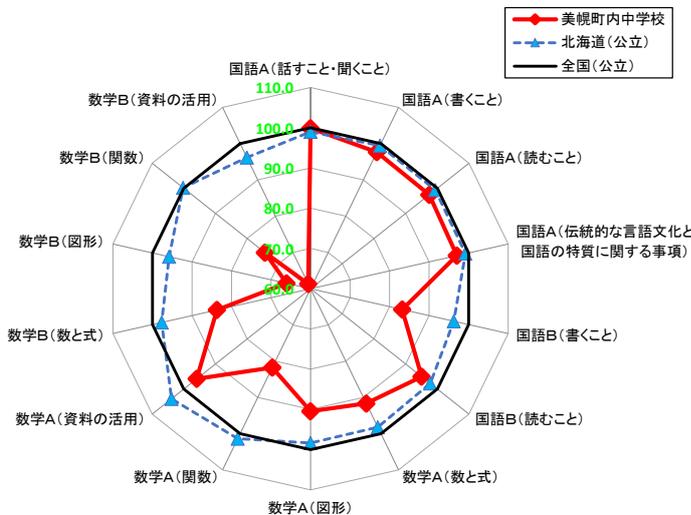
## 【美幌町の学力向上策】

- ◎ チーム・ティーチングや習熟度別指導など、指導工夫改善やきめ細かな指導の充実
- ◎ 授業改善推進チーム活用事業(北海道)による授業改善と学習規律の徹底
- ◎ 大学生ボランティアを活用した学習サポートを全小学校で年間10日間実施
- ◎ 退職教員等を活用した放課後における補充的な学習サポートの実施
- ◎ 「家庭学習の手引」「生活リズムチェックシート」の活用による、家庭と連携した学習習慣の確立
- ◎ 全小学校における公開研究会を中核とした授業改善
- ◎ 町費採用教員の配置によるきめ細かな指導の充実

# 美幌町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2、生徒数:143名)

## 【教科全体の状況】

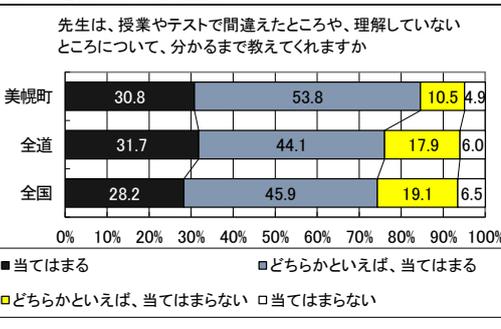
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



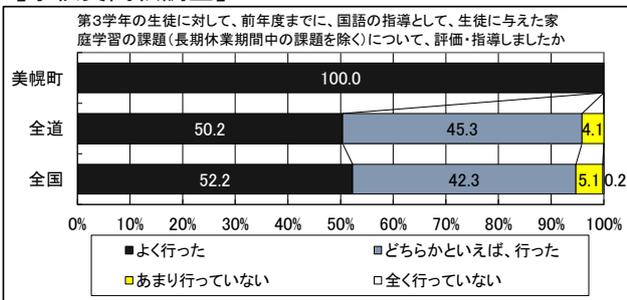
## 美幌町内中学校の平均正答率

教科名	平均正答率(%)
国語A	73.9
国語B	63.2
数学A	55.8
数学B	33.7

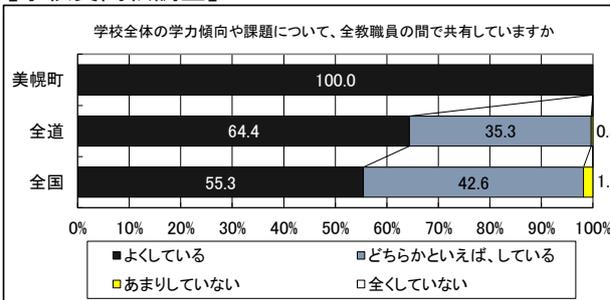
## 【生徒質問紙調査】



## 【学校質問紙調査】



## 【学校質問紙調査】



## 【分析】

教科	○ 国語Aでは、すべての領域で、全国とほぼ同様になっており、Bでは、「読むこと」で、全道とほぼ同様になっている。	○ 各学校が家庭学習の課題を与え、評価・指導を行う取組を徹底したり、生徒が間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えたりしたことが基礎的・基本的な知識・技能の定着につながっていると考えられる。
生徒質問紙	○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくださいますか」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	
学校質問紙	○ すべての学校が、「国語において家庭学習の課題について、評価・指導をしている」と回答している。 ○ すべての学校が、「学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有している」と回答している。	

## 【美幌町の学力向上策】

- ◎ ティーム・ティーチングや習熟度別指導など、指導工夫改善やきめ細かな指導の充実
- ◎ 大学生ボランティアを活用した学習サポートを全中学校で年間10日間実施
- ◎ 「家庭学習の手引」「生活リズムチェックシート」の活用による、家庭と連携した学習習慣の確立
- ◎ 全中学校における公開研究会を中核とした授業改善
- ◎ 町費採用教員の配置によるきめ細かな指導の充実